

景観まちづくりワークショップ



in 計根別地区

平成28年11月14日（月） 19：00～21：00
計根別支所（計根別交流センター）

19:00 1. あいさつ

19:05 2. 景観計画に関する情報提供

19:25 3. 全体でディスカッション(70分)

けねべつまちづくり
アンケート結果より

●計根別地区のまちづくりで大切な4つのとりくみを考える

●地域の抱える課題、検討していくとりくみを考える

20:40 4. 共有とふり返し

21:00 5. 閉会

時間があれば・・・

計根別地区での開催にあたって…

『中標津町景観計画』の中では、地域ごとの景観まちづくりがより活発化していくような内容も検討中

“まちづくりのマスタープラン”づくりが進められている計根別地区との連携は非常に大切

「景観まちづくり団体交流会～景観まちづくりワークショップin計根別」と題し、**“協働”のきっかけとして情報交換を図る機会**を設けさせていただきました。

中標津における「景観まちづくり」を育てていくプロセス

平成27年度

2/19.20
景観まちづくり
団体交流会

ステップ
アップ

平成28年度 景観まちづくりを育てていく最初の1年

景観まちづくりワークショップ

6月9日

7月28日

8/25

11/14

9/10景観フォーラム

3/27フォーラム



関連

事業者・関係団体ヒアリング
(サテライトトークン)

平成29年度～

景観まちづくり
団体の継続
的なネットワ
ーク活動へ

平成27年度から2ヵ年をかけて『中標津町景観計画』を策定

計画を運用

パブリックコメント（町民意見募集）

平成28年10月25日（火）～平成28年11月24日（木）

7月28日（木） 第1回 計根別地区ワークショップ

■主なご意見

子ども達の“ふるさと意識”を育てていくため、身近な景観をよくしていくことは大事なことである。

→かっこいい大人の背中を見せたい！

雑草やごみなど、身近な生活環境を“みんなの”協力で地道によくしていくことが、景観の良さにもつながる。

なりわいで作られた計根別（中標津）の景観を活かして、“観光”につなげていくことも大事ではないか

→外国人観光客へのPR

→長い目で観光ルート、情報発信などに取り組む

ワークショップで寄せられた意見を元に**推進方策**を作成しました。



8月25日のワークショップ（中標津）
9月9日の第5回中標津町景観計画策定委員会



上記で確認・検討のうえ、景観計画のパブリックコメント（計画内容について町民の皆さんの意見を募集する）を実施。

けねべつ
まちづくり
アンケート

11月14日（月） 第2回 計根別地区ワークショップ

■計根別地区のまちづくりで大切な4つの取組み

①自然災害に対する防災訓練・避難誘導等への取組み

- 防災マップは町内会によって作成・更新している。
- 河川が地区の低い所を流れているため、大水の時でも比較的安全な市街地である。
- 防災訓練は、4年に1度は開催する方針になっている。
- 養老牛は、がけ崩れなどがある。
- 防災訓練の開催は、アンケートでは1年に1回が最多となっている。
- アンケートの結果によると、「大災害のときは、家族以外に隣近所の人が大事」と出ている。

②防犯・交通安全対策に関する取組み

- 道道など、歩道を照らすような防犯灯の設置について、考えていく必要がある。

11月14日（月） 第2回 計根別地区ワークショップ

■計根別地区のまちづくりで大切な4つの取組み

③高齢者、独居、障がい者等の“見守り”などの取組み

- 人のつながりを線で結ぶ「支え合いマップ」をつくる。
- 見守りの活動として、独居老人へ花を配っている（農高生徒）。
- 直接知らなくても、存在と、誰から情報を得られるか、をみんなで共有できる（個人情報ではないので、つくりやすい）。
- 計根別に“住んでもらいたい”。
- 仕事の方は、中標津からの通いが多い。
- 担い手や主体者が地域にいない。
- 買い物難民が増えていくため、支援サービスの検討や交通アクセスの見直しが必要である。
- 交通問題については、有償で出来る範囲を検討していかないといけない。
- トドックを利用している人は、たくさんいるのではないかな？→コンビニ等のサービスをヒントに仕組みをつくれないうか？
- 老人クラブに入る人がいなくなったため、機能していない。
- 老人クラブ「あずま会」では、月に1回、そばを配っていて、それが見守り活動になっている。

11月14日（月） 第2回 計根別地区ワークショップ

■計根別地区のまちづくりで大切な4つの取組み

④景観も含めた自然環境整備に関する取組み

- 全ての項目に関わり合う取組みである。
- 農高生徒が地区の遊び場や公共施設のゴミ拾いをしている。
→もっと地区に浸透させたい。
- 農高生徒数が減っている。活動の担い手として取り込んでいきたい。
- 空き家は、青少年育成協議会で、年に1回、地区内を点検している。
- 児童館の耐用年数が過ぎている。
- 多世代の交流を生むために、計根別の暮らしぶり（楽しい姿や一生懸命に取り組む様子など）を見せていきたいし、子ども達や高校生たちと触れ合う場面をつくっていきたい。
- 歩道の雑草除去等、できそうなことをやってみる。

11月14日（月） 第2回 計根別地区ワークショップ

■計根別地区のまちづくりで大切な4つの取組み

■大切な取組み全体を通じて

- 取組みには、楽しめる魅力（食など）をつけたい。
- 女性の視点も取り入れる必要がある。
- みんなで“食べる”などの楽しく集まることができるような交流があると、地域が明るくなり、見守りにつながる。
→以前、朝市の企画があったが、衛生の問題で実現しなかった。
- 笑顔をつくる。
- 各主体（老人クラブなど）が地域や自分たちに貢献するような役割（ライフワーク）をつくることで、前向きに取組みをすすめられる。また、それを子ども（高校生）が見ることで、次につながるのではないか。
- 集う場（屋内）や物々交換など検討するとできるかもしれない。
- みんなの笑顔をつくっていくことが、結果として計根別の景観を育てる。
- 「今あるものを活かす」考えていく。
- 地区内の色々な団体（農業高校も含む）と情報共有する場をつくる。 見せる背景は明るく！

11月14日（月） 第2回 計根別地区ワークショップ

■計根別地区のまちづくりで大切な4つの取組み

■その他

- 旧小学校校舎については、取り壊しが決まっています、事案からは外すことが決まった。
- アンケート結果は、今後各部会で精査・検討していく。

